

小さな世界に広がる苔への探究心







小さな世界に広がる苔への探究心

# kokeLABO

庭の片隅、道路の脇、ブロック塀のすき間、小川の岩の上など、ふと向けた視線の先にさりげなく生えている苔たち。なんとなく眺めているだけで心が和み、リラックスした気持ちになりませんか？

実はこの苔たち、小さなスペースで比較的簡単に育てることができるんです。乾燥にも強いので、忙しくて毎日水やりができない人にもおすすめです。

色々な種類の苔たちをコレクションしたり、水槽やガラスの瓶にレイアウトしてあなただけのコケアートを作ったり、小さな生き物と一緒に飼ったりと、一見地味なイメージの苔たちの小さな世界に広がる無限の魅力に、あなたもどっぴりとハマってみませんか？



## あまり知らないコケのこと

コケの種類は世界で20,000種類以上もあり、日本にも1,700種類以上が分布しています。ほとんどが陸上に生えていますが、中には水中で生育する種類もあります。

コケには植物に見られる維管束（根から葉へ水分や栄養分を運ぶ組織）がありません。植物でいう根の部分は、仮根と呼ばれる自らを地面に固定するだけの役割となり、水分や栄養分は葉から吸収します。空気が乾燥した状態になると、コケの葉は乾いて縮れ休眠状態となります。そのため、水を与えると縮れていた葉が水分を吸収し、もとのようになります。

コケは種子ではなく胞子で増えます。蒴柄の先にできる蒴は孢子嚢とも言われ、袋状になったその中ではたくさんの胞子が作られます。

## コケの体をのぞいてみよう！



## 誰でも簡単コケテラリウム！

1

### 位置決め

水槽に1～2cm厚程度砂を敷き、お好みの石を配置します。

1



2

### 盛り土

コケを植え付ける部分に用土で盛り土をしていきます。完成形をイメージしながら盛り土に高低差をつけていきましょう。

2



※用土：コケを植え付けるための土。  
用土には、黒土、赤玉土、砂、腐葉土を混合したものがおすすめ！

【配合例】黒：赤：砂：腐葉土= 5：3：1：1

3



3

### コケの植え付け

あらかじめ湿らせておいたコケを用土に軽く抑えて密着させながら植え付けていきます。

細かい部分や茎の長いコケはピンセットなどを使用すると便利です。

4



4

### 霧吹き

コケと用土をなじませるために、たっぷりと霧吹きをおこないます。

5



5

### 完成！

## 失敗しないコケの育て方

### ● 適度な光量

コケは、なんとなく暗い環境に生えているイメージですが、十分な明るさがないと栄養不足となり枯れてしまう場合があります。室内は屋外に比べて暗いため、窓辺に置いたり、観賞魚用のライトを使用するなどして明るい環境で育ててください。ただし、直射日光はコケの温度を上げすぎてしまい、風通しの悪い環境では蒸れて枯れる場合がありますのでご注意ください。

### ● 適度な湿度

コケは乾燥に比較的強いですが、乾燥状態が続くと弱ってしまいますので、定期的に霧吹きをおこなってください。常に水に浸かっている状態で育てると、蒸れや腐れ、カビの発生の原因となるのでご注意ください。蒸れを防止するためにも霧吹きは、涼しい朝または晩におこなってください。



# コケ図鑑



日当たりの良い所 半日陰～日陰 乾燥気味を好む 湿り気を好む

## こんもり密集する種類



スナゴケ

*Rhacomitrium canescens*



黄緑色の繊細な葉が魅力。日光を好むので室内ではライトで光量を強化してあげましょう。



ホソバオキナゴケ

*Leucobryum juniperoideum*



繊細な葉がこんもりと密集する人気種。小型で生長が遅いので最初から密に植えつけましょう。



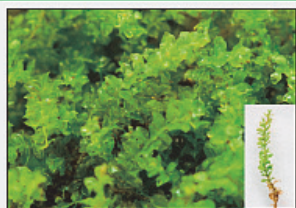
タチゴケ

*Atrichum sp.*



深い緑色で透明感があり、柔らかな印象の美しい種。水はたっぷり与えて問題ないですが、蒸れには注意。

## 横にはう種類



コツボゴケ

*Plagiomnium acutum*



鮮やか緑の丸い葉はレイアウトのワンポイントに最適。水はたっぷり与えて問題ないですが、蒸れには注意。



シノブゴケ

*Thuidium sp.*



シダを思わせる細かく枝分かれした葉をもち、苔庭や盆栽でよく使用されます。日陰で適度な湿気があるとよく育ちます。



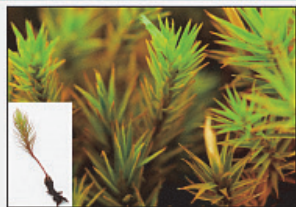
ハイゴケ

*Hypnum plumaeforme*



這うように生長し、苔玉などに用いられる。育成は容易で生長も早い。はがれ易いので水やりは優しくおこないましょう。

## 上に伸びる種類



スギゴケ

*Polytrichum sp.*



乾燥に強く、半日陰から日向まで幅広く育つ。茎は毎年伸び続けるので、伸びすぎたら間引いて根元から新しい芽を出させましょう。



シッポゴケ

*Dicranum japonicum*



苔庭などで多く用いられ、外観はスギゴケに似ていますが、葉が長く、まさしく動物のしっぽのよう。多湿を好みますが、乾燥にも比較的強い。



ヒノキゴケ

*Pyrrhobryum dozyanum*



柔らかな葉が印象的で別名イタチノシッポと呼ばれる。育成は容易で過湿にも比較的強いですが、蒸れには注意。



# レイアウトを楽しむひと工夫

## ◆ 数種類のコケを使う

横に這うもの、こんもり盛り上がるもの、上に伸びるもの。性質の違うコケを組み合わせることで立体感、遠近感が出てより深みのあるレイアウトになります。



コケとウツボカスラの組み合わせ例

## ◆ 植物を組み合わせる

シダなどコケと相性の良い植物をアクセントに！



ミヤマウスラ



トキワシノブ

## ◆ 器にこだわる

ガラスの器で。和の器で。



## ◆ 生き物と一緒に

爬虫類、両生類、カニ類など。



# kokeLABQシリーズのご紹介

